

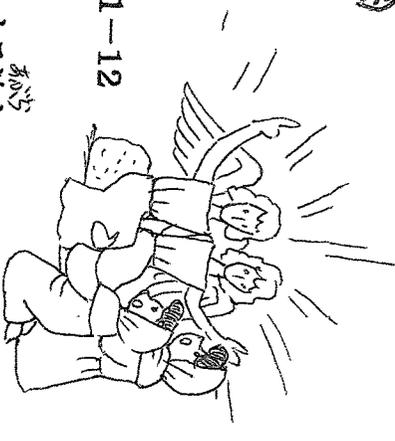
いずみのひろば

2020年11月号
日本基督教団 聖公会
No. 502 教会学校



「よみがえったイエスさま」

ルカによる福音書 24:1-12



女の人たちは、安息日の次の日の朝はやく、イエスさまの体に良い香りのする油を塗るためにお墓にいそぎました。イエスさまが十字架にかかり死なれた日は安息日に近く、じゆうぶんにその体をきれいにしておあげられなかったからです。

ところがお墓に着くと、お墓の入り口をおさいであった大きな石がころがされていました。

「こんなに朝はやく来たのに、もうだれか先に来ているのかしら？」と思って中をのぞいてびっくりしました。お墓の中はからっぽです。イエスさまのお体がありません。

「いったいなにが起こったのかしら？」驚いてパニックになっていると、二人の天使が現れてこう言いました。「生きている方をなぜお墓の中で探すのですか？」「イエスさまが前にお話しになった事を思い出さない！」イエスさまはガラヤにるところから三度も、ご自分が十字架にかかり、死んで三日目によみがえると話されていました。

天使にはげまされ、イエスさまのお言葉を思い出した女の人たちは、弟子たちみんながいる所にいそいで帰って行きました。そして今あった事を全部知らせました。

でもこんなにうれしい知らせを聞いても、男の弟子たちはすべには信じることができませんでした。それでもあきらめないで、イエスさまがよみがえられた事を一生懸命つたえつづけました。

みなさん、教会はどうやってできたのか知っていますか？

それは、イエスさまがよみがえった事を信じる人たちが集まって、礼拝をした事で始まりました。

もしイエスさまが復活されなかったら、もしイエスさまの復活をだれも信じなかったら、教会はできていません。

復活されたイエスさまは、もうお墓の中にはいません。

イエスさまを信じる私たちと一緒にいてくださいます。どんな時も、いつでも。

おはなし

たまきチヨよ せんい
玉置幸代先生